

## 大分岡病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名	「True 3D ホログラム PreOP」を用いた僧帽弁、三尖弁、冠動脈、左心耳の3D解析
当院の研究責任者 (所属)	迫 秀則 (心臓血管外科)
他の研究機関および 各施設の研究責任者	なし
本研究の目的	僧帽弁、三尖弁と冠動脈の解剖的位置関係は確立されていますが、弁手術時の冠動脈合併症の報告は稀ではありません。これらの合併症は、実際の手術現場において心臓内腔から冠動脈を視認することができず、さらにそれを立体的に把握することが難しい事に起因していることが考えられます。今回我々は、術前に行う冠動脈CTデータを3D解析が可能なTrue 3D ホログラム PreOP装置を用いて、僧帽弁輪、三尖弁輪、左心耳と冠動脈の位置関係を解析したので、立体画像として報告します。
調査データ 該当期間	2014年から2024年7月までに行った完全内視鏡下僧帽弁、三尖弁手術153例のうち、術前に冠動脈CTを施行した症例30例を無作為に抽出し、その内十分に良好な画像を得られた26例を解析します。
研究の方法 (使用する試料等)	冠動脈CTデータをTrue 3D ホログラム PreOPに取り込み3D解析を行います。弁輪の決定法として、僧帽弁、三尖弁のhinge point付着部位を全周性に同定し、これを立体的弁輪画像として獲得します。また、左心耳と冠動脈の立体形態も解析します。
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報には削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話：(代表) 097-522-3131 担当者：心臓血管外科 迫 秀則
備考	研究への協力を希望されない場合は、いつでも拒否ができ、そのために診療上で不利益を被ることはありません。